



花 ご よ み

2019年
12月26日
200号

発行
公財)東京動物園協会
井の頭自然文化園

1



カンツバキ

2



クチナシ

香りだけでなく、実も主張しています。

3



センリョウ

4



マンリョウ

5



モミジ

6



ヤブコウジ

7



ゆきつり

築山内、童心舎内で、冬の添景物の雪吊りがご覧頂けます。

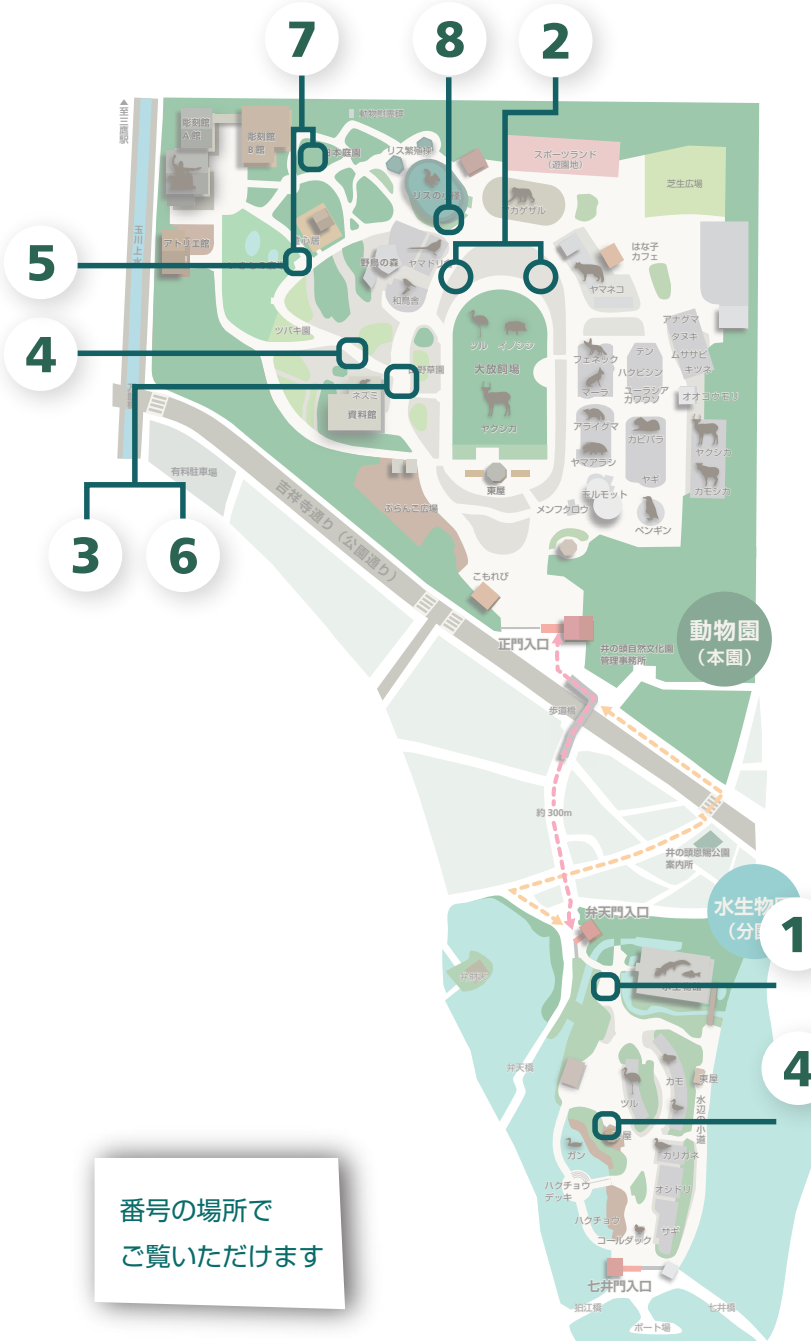
8



しもよけ

冬の添景物。リスの小径前で霜除けがご覧頂けます。

雪吊り、霜除け、門松を設置して新年を迎えます。山野草園内にお正月の縁起物として有名な十両、千両、万両の赤い実がご覧頂けます。十両は、ヤブコウジの別名です。白い実の万両も探してね。



番号の場所で
ご覧いただけます

発刊から 200 回を迎えて —創刊者からのコメント—

花ごよみ 200 号おめでとうございます！
私は 1 号から 178 号まで井の頭自然文化園で花ごよみを担当していた星野です。井の頭自然文化園は緑が豊かで植物の種類が多い動物園です。
園内の開花状況や花の名前など植物に関する問い合わせも多く、その対応として植物を担当する施設係で売札窓口、事務所の職員のために作成したのが花ごよみの始まりです。その後、来園者の皆様にお知らせとして各門入口に掲示するようになったのですが、当初は手書きのものでした。やがて教育普及係と施設係の連携で作成するパソコンデザインの現在の花ごよみになり、井の頭自然文化園公式サイトでの掲載も行なっています。

花ごよみの発行回数が増え定着してくると、花ごよみとは別の形で園内の植物を紹介する植物ガイドも行われるようになりました。また 2017 年の井の頭自然文化園 75 周年、井の頭恩賜公園 100 周年の時は園内の植物の紹介と 24 節気 72 候のカレンダーの掲載、花ごよみ 150 号を記念してパンフレット、そして最近では竹垣パンフレットなどの発行がありました。
これらのイベントや発行物の原点が花ごよみなのです。



カレンダー

パンフレット